

大西

- 研究テーマ：金融・ゲーム理論・OR
- 開講時限：月曜日 5限
- 人数：4回生 20人、3回生 20人くらい
男女比(35 : 5)くらい
- 卒業論：有・無
- 飲み会：新歓や学期の節目など最低限数のみ。
- ゼミ旅行：有・無
- OB会：有・無

授業(形式・内容等)

ゼミって何してるんですか。

学習領域は【金融】【ゲーム理論】が中心。
一冊の本を決め、グループを分けて輪読・発表する。
それぞれが担当部分を発表するのでグループをつくることに実質的意味はない。
議論や質疑応答が一切ないのはどうしてだろう。
発表が終わった人には賞賛の拍手を贈ってやろう。

教授ってどんな人?

担当教授紹介。

大阪大学金融保険センターのセンター長。
温厚・寛容・親切。たまに度がすぎるくらいに。

ココがポイント

ゼミの一押しポイント。

「ゼミとしてポイントが無い」ことが決定的ポイントと思われる。
何も考えずに迷い込んでも傷はつかないだろうが、意識をしなければ得るものも少ないだろう。

雰囲気

授業中とか授業以外とか。

昨年はゼミ生数がめでたく40オーバーを記録した。
月曜組と金曜組に分けるなど巧みな分断政策が行われた結果、
煩雑な人間関係を離れてゼミ生一人ひとりが自分だけのゆたかな
生き方を見つけることができたであろう。

志望動機。

●●ゼミに惹かれた理由。

「金融」という領域に強い興味関心があれば、志望動機としては十二分。

どんな人が先輩??

面白い先輩とか就職先とか

アバウトな情報として、伊藤忠や東京海上日動の内定が出たと聞かれる。
交流が少ないために情報も少なくなるのは必然である。

金融に強い興味関心があり、積極的に学びたい人向けのゼミ。
逆に、これが無いと収穫のないモノトーンなゼミ生活になるリスクがある。

もしくは、ゼミ収穫にこだわらないリスク回避な人にとっては、何も考えず
と安全が確保される避難所的ゼミ。
これでいいかどうかは、各人の効用関数次第だろう。

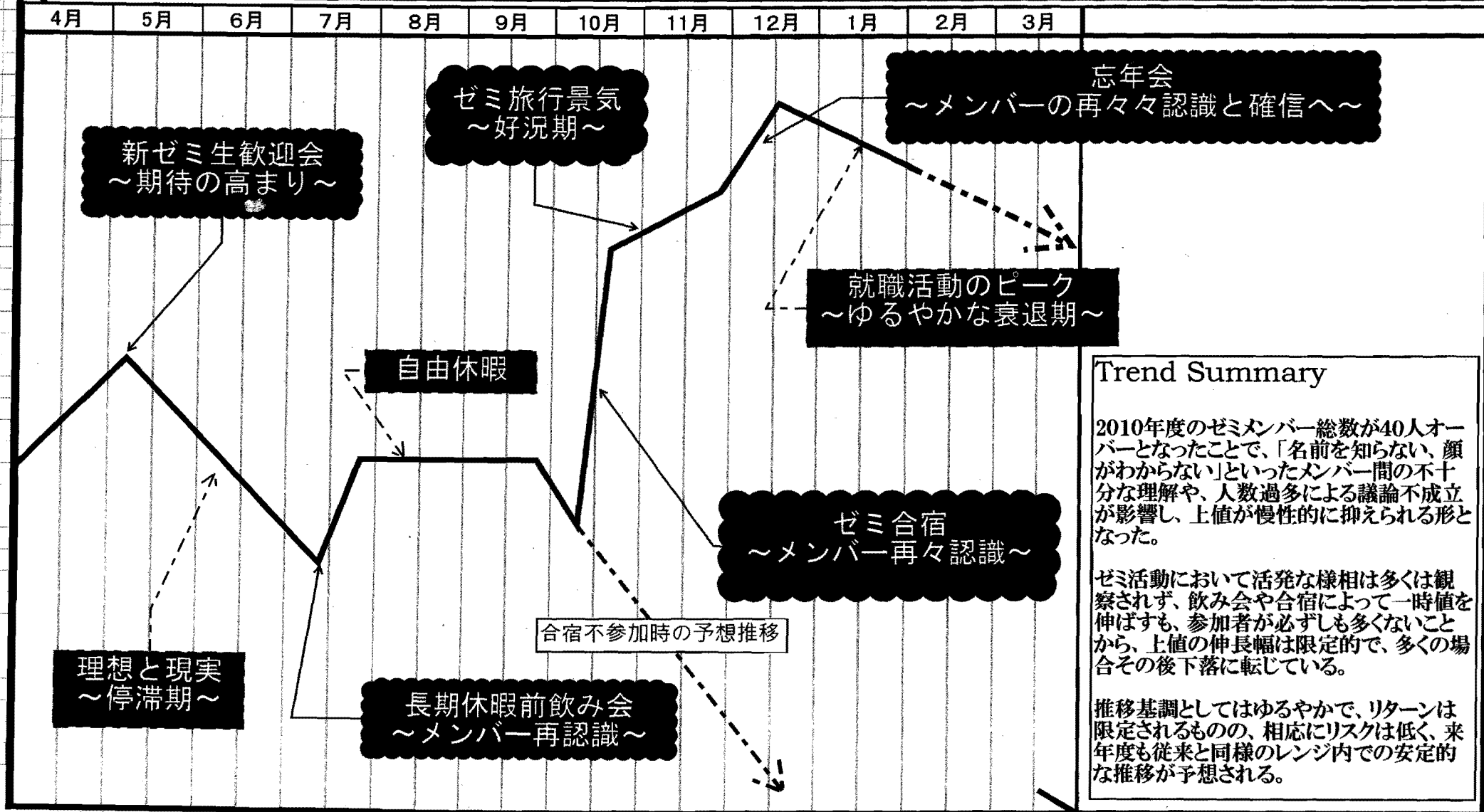
本来ゼミ採用に面接は無く、実質無条件許可の状態だったが、教授があまり
にも多い人数を懸念し始めたため今年は面接があるものと予想される。

自由にアピールしてください。

FREE SPACE!!

OSSI (O-nishi Seminar Stock price Index), 2010's transition

大西先生



Trend Summary

2010年度のゼミメンバー総数が40人オーバーとなったことで、「名前を知らない、顔がわからない」といったメンバー間の不十分な理解や、人数過多による議論不成立が影響し、上値が慢性的に抑えられる形となった。

ゼミ活動において活発な様相は多くは観察されず、飲み会や合宿によって一時値を伸ばすも、参加者が必ずしも多くないことから、上値の伸長幅は限定的で、多くの場合その後下落に転じている。

推移基調としてはゆるやかで、リターンは限定されるものの、相応にリスクは低く、来年度も従来と同様のレンジ内での安定的な推移が予想される。

YEAR PLAN